

# 令和2年度 市政アンケート調査 第5回結果報告(概要版)

## 1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
  - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の男女624人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
  - ②任期 :令和2年4月15日から令和3年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 郵送または電子メール
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

## 2. 第5回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和2年10月26日から11月9日まで
- (2) 調査対象者数
- 621人
- (3) 回答者数
- 547人
- (4) 有効回答率
- 88.1%
- (5) 調査テーマ
- ①「住宅用火災警報器」について
  - ②「水道水への意識や水道事業に対する満足度」について
  - ③「『食』の安全・安心」について
  - ④「消費生活」について
  - ⑤「南区の桜原桜」について

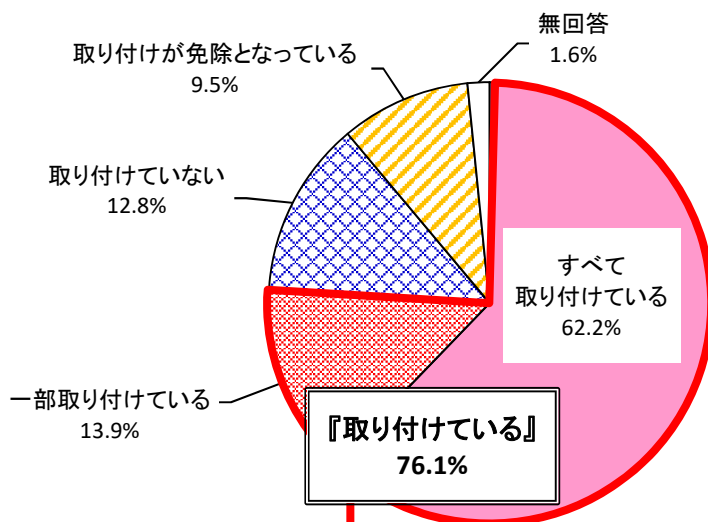
## 3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

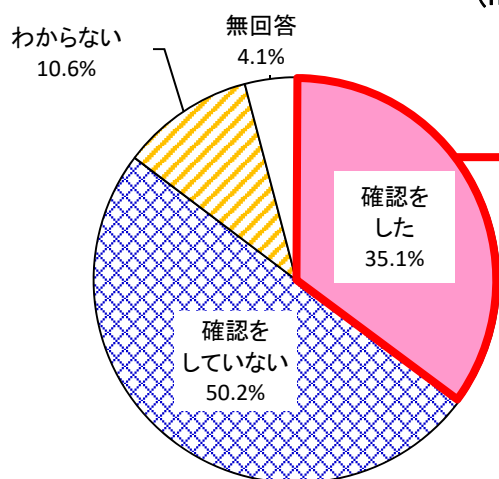
※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものの。  
例:『安心』=「安心」+「どちらかといえば安心」

# ①「住宅用火災警報器」について(N=547)

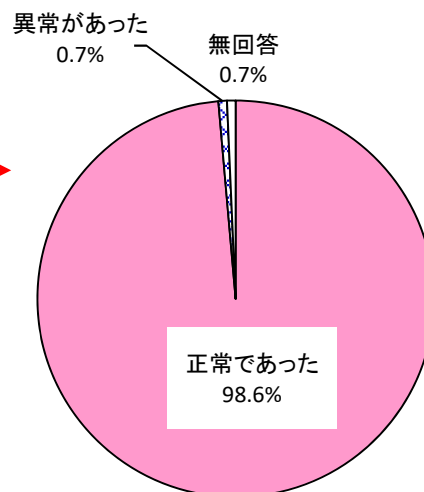
## 《住宅用火災警報器を条例で義務付けられている場所に取り付けているか》



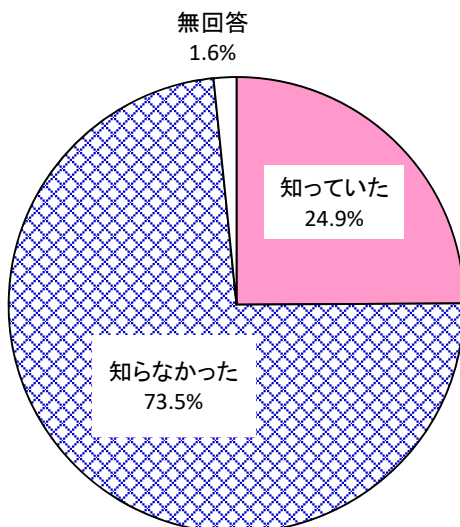
## 《半年以内に住宅用火災警報器の作動確認をしたか》 (n=416)



## 《作動確認の結果》 (n=146)



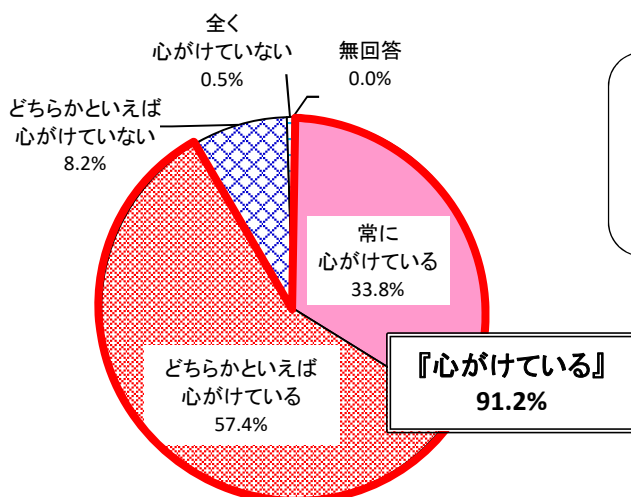
## 《住宅用火災警報器は設置から10年での交換が推奨されていることを知っていたか》



「知っていた」と回答した方は24.9%となりました。

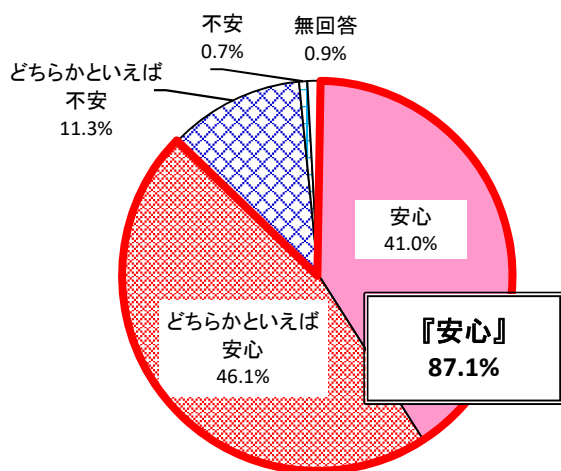
## ②「水道水への意識や水道事業に対する満足度」について(N=547)

### 《節水をどの程度心がけているか》

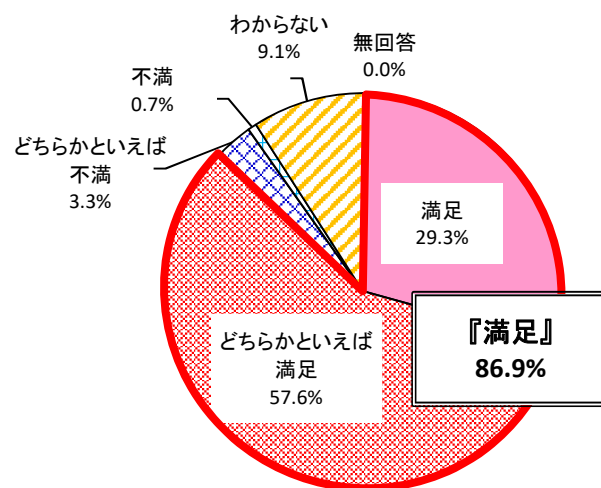


『心がけている』と回答した方が、91.2%となりました。

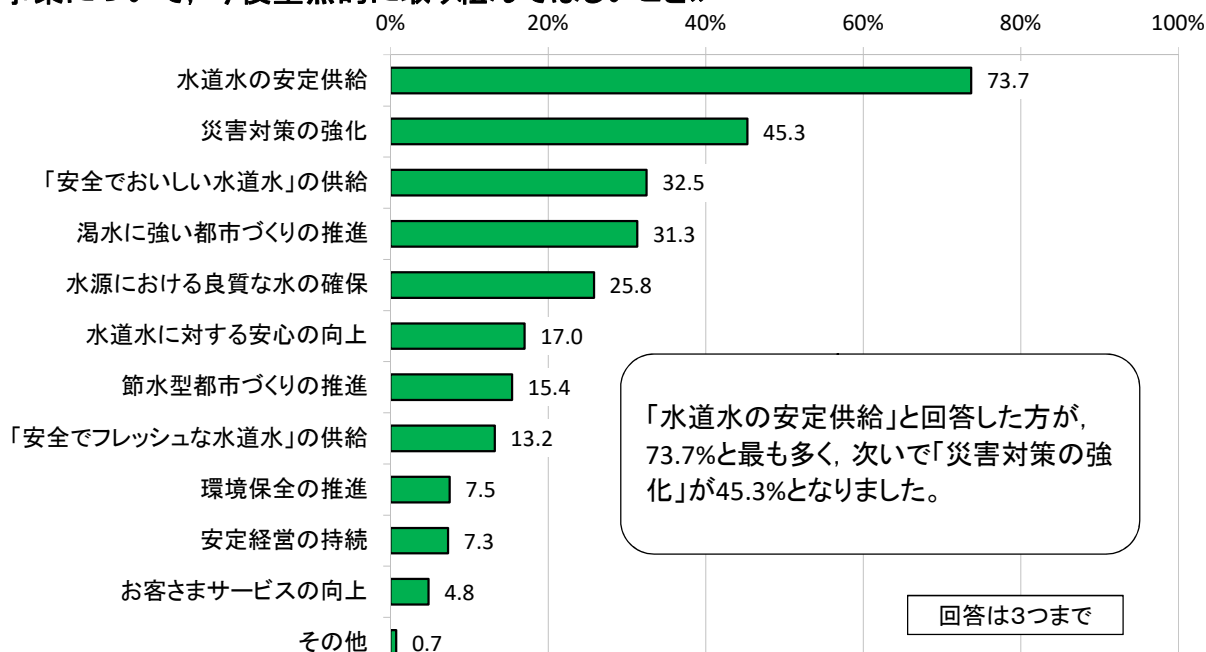
### 《水道水の安全性についてどのように感じているか》



### 《現在の水道事業に満足しているか》



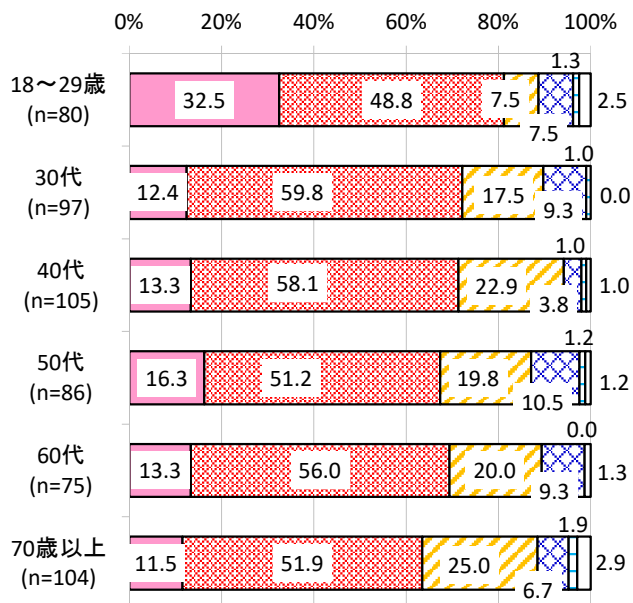
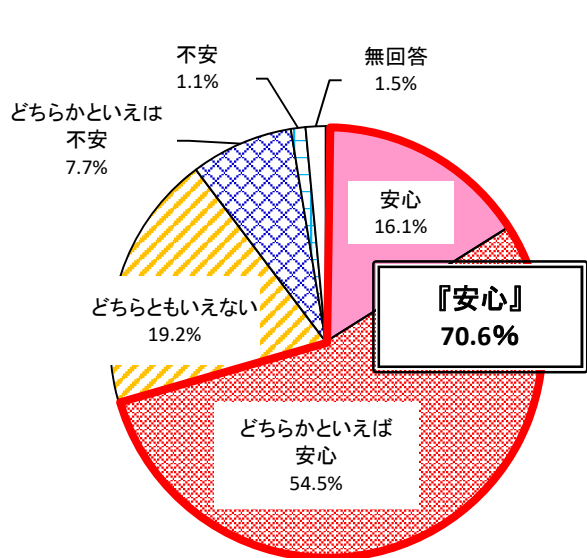
### 《水道事業について、今後重点的に取り組んでほしいこと》



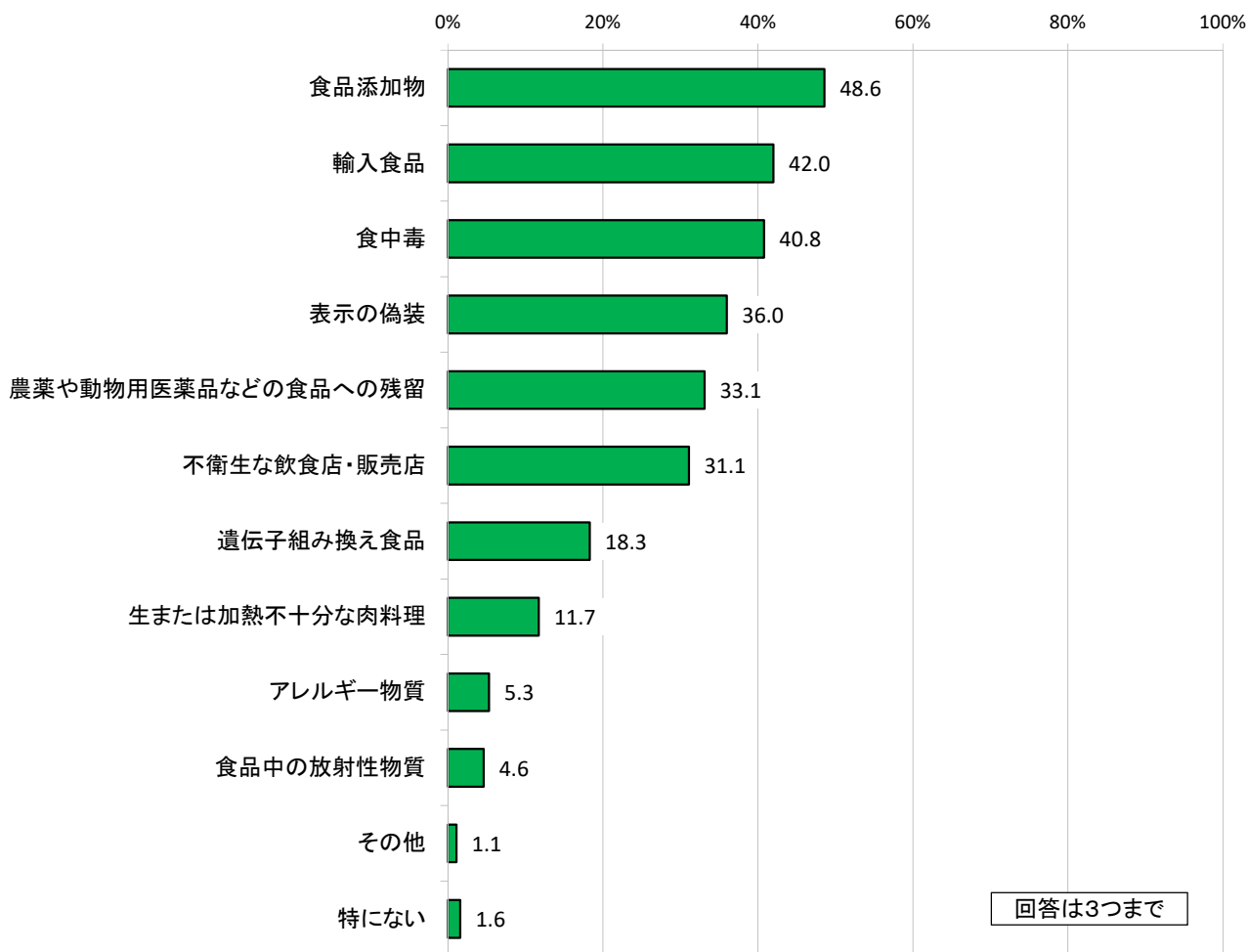
### ③『食』の安全・安心について(N=547)

#### 《『食』の安全・安心についてどのように感じているか》

安心    どちらかといえば安心    どちらともいえない    どちらかといえば不安    不安    無回答

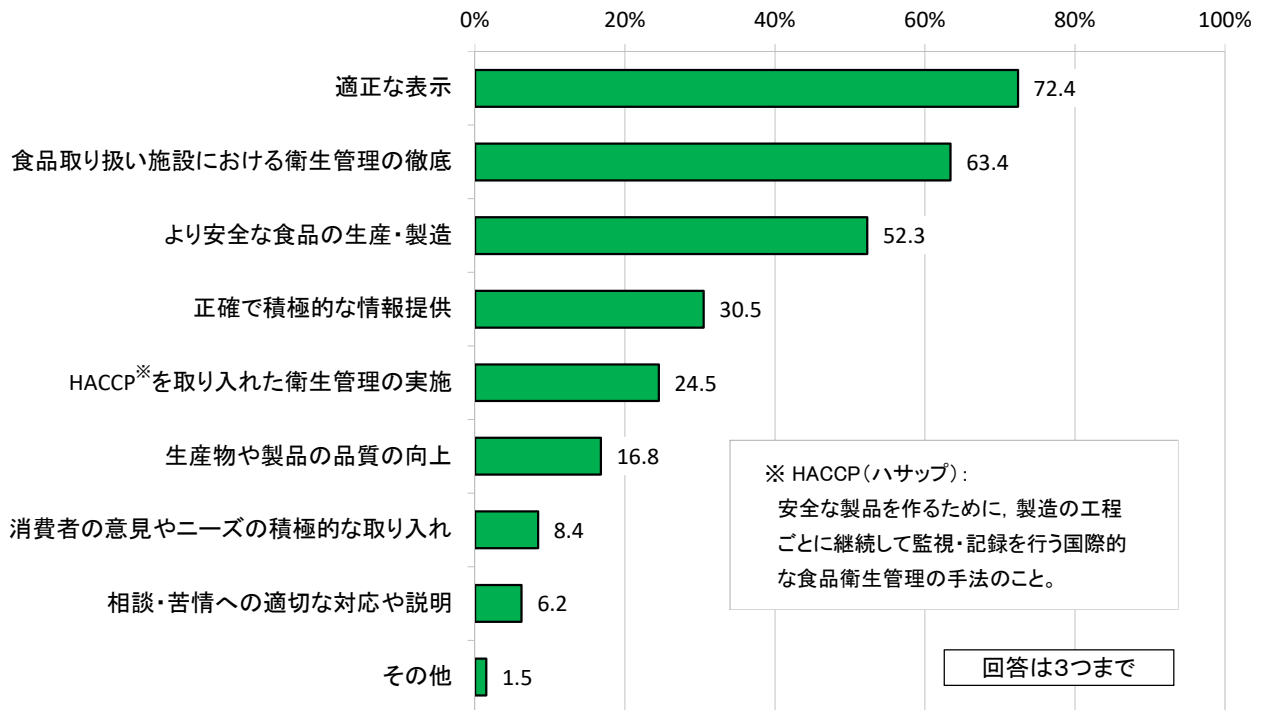


#### 《『食』の安全について特に不安に感じていること》



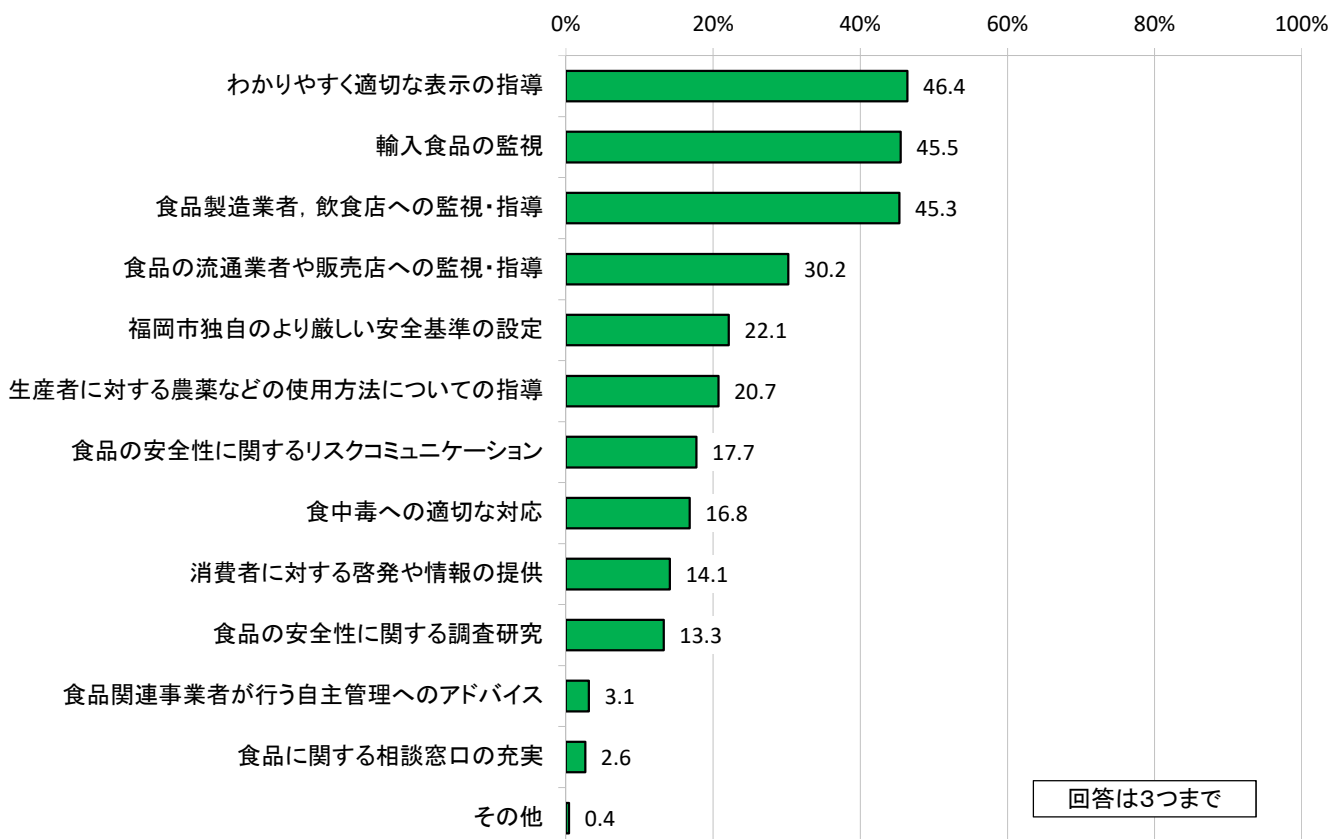
「食品添加物」が48.6%と最も多く、次いで「輸入食品」が42.0%、「食中毒」が40.8%となりました。

## 《食品関連事業者(生産者, 製造者, 販売者, 飲食店など)に強く希望すること》



「適正な表示」が72.4%と最も多く、次いで「食品取り扱い施設における衛生管理の徹底」が63.4%、「より安全な食品の生産・製造」が52.3%となりました。

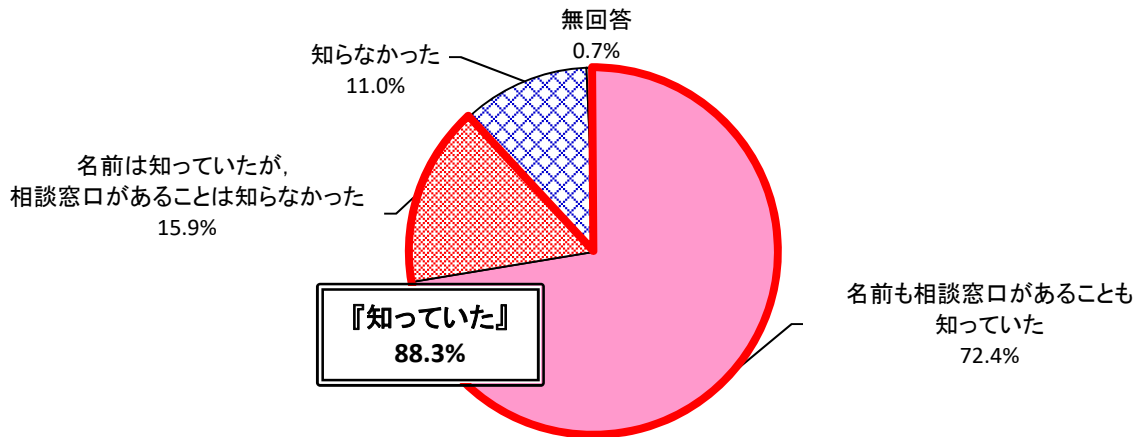
## 《「食」の安全確保のため、福岡市にさらに力を入れてほしいこと》



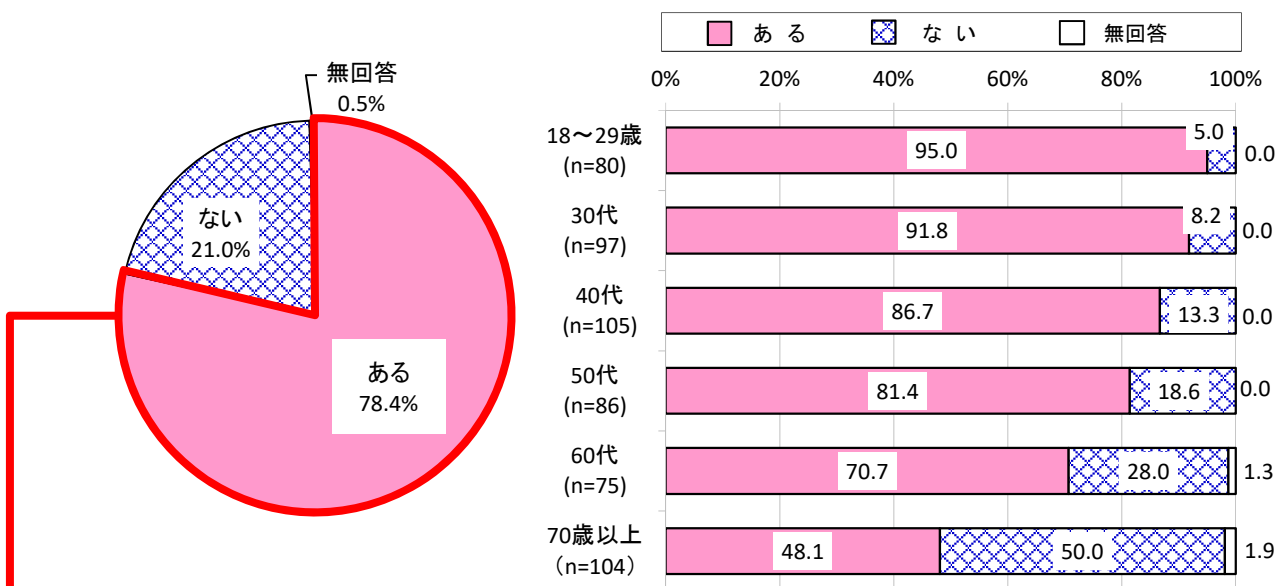
「わかりやすく適切な表示の指導」が46.4%と最も多く、次いで「輸入食品の監視」が45.5%、「食品製造業者, 飲食店への監視・指導」が45.3%となりました。

#### ④「消費生活」について(N=547)

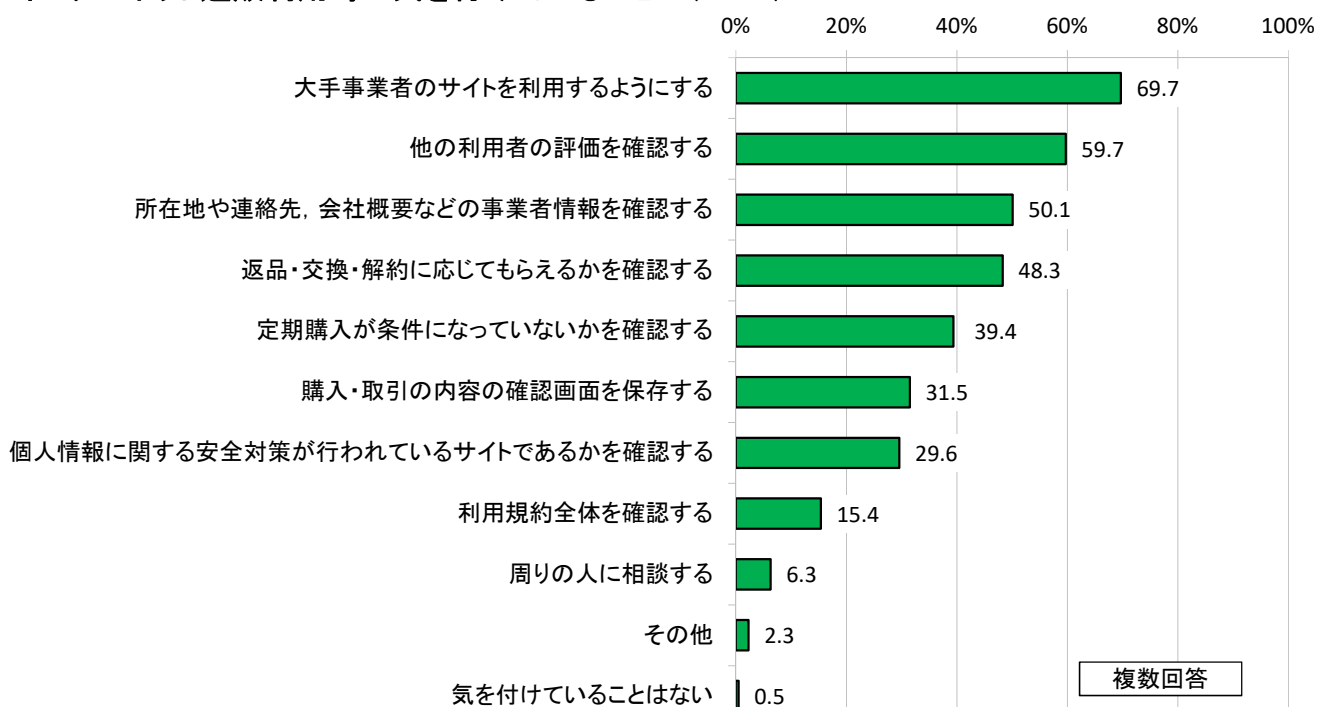
##### 《消費生活センターや同センターに相談窓口があることを知っていたか》



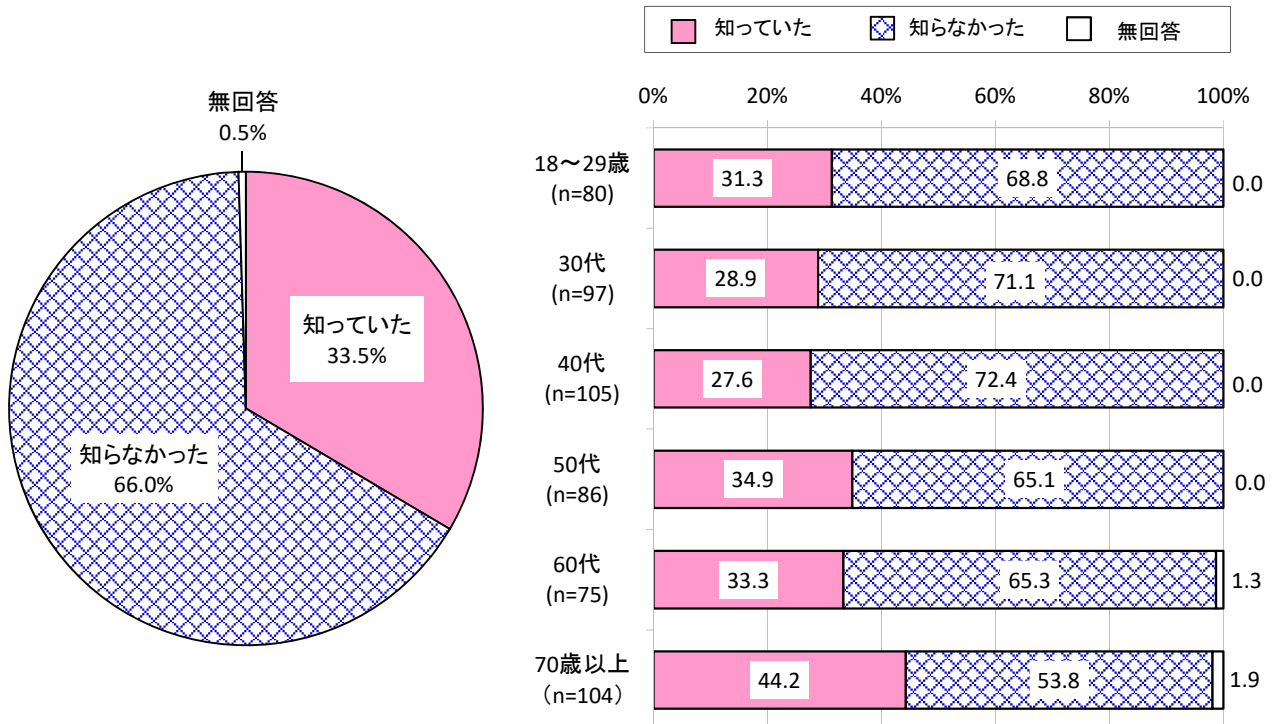
##### 《過去1年間のインターネット通販(ネットオークションやフリマアプリを除く)利用経験》



##### 《インターネット通販利用時に気を付けていること》(n=429)

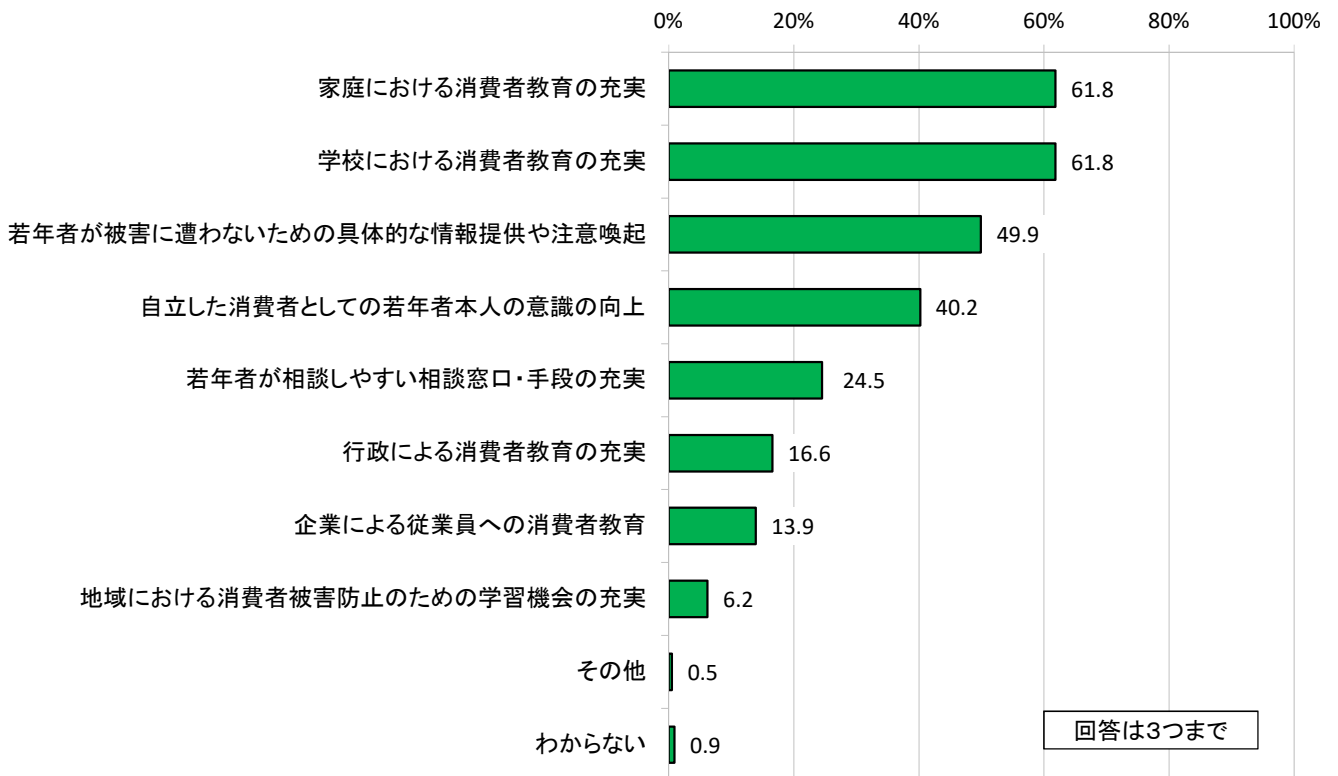


## 《令和4年4月から「未成年者取消権」が18歳,19歳に適用されなくなることを知っていたか》



「知っていた」と回答した方は全体の33.5%となりました。年代別にみると、70歳以上で「知っていた」の割合が最も高く44.2%となりました。

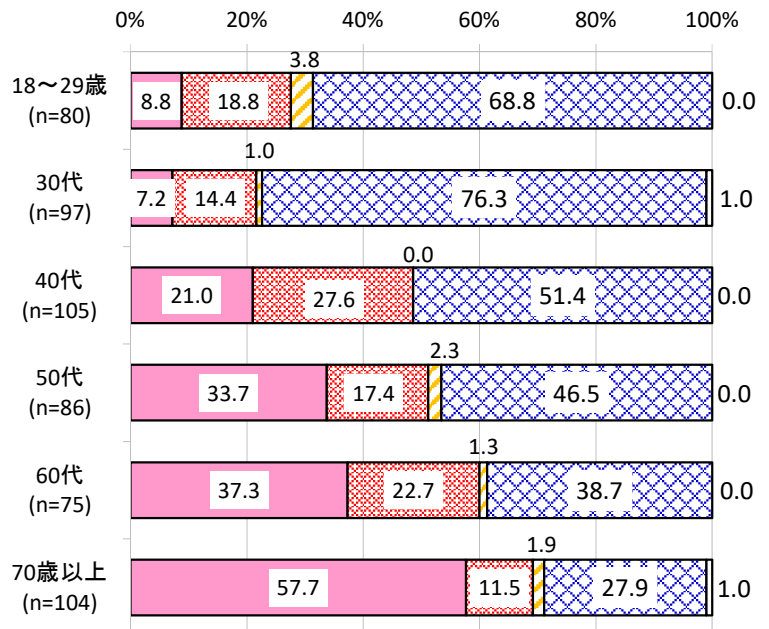
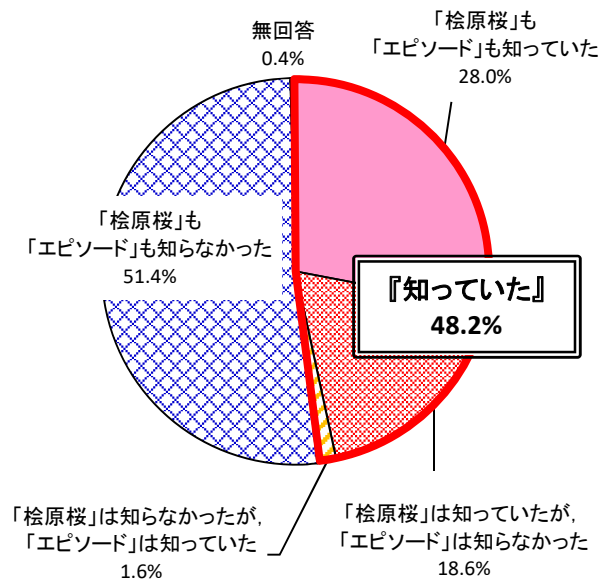
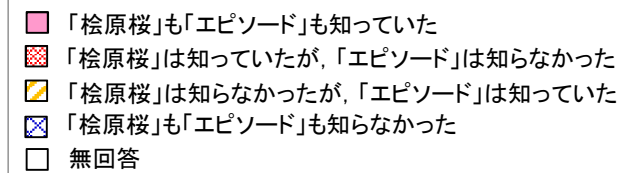
## 《若年者の消費者トラブル防止のために重要なこと》



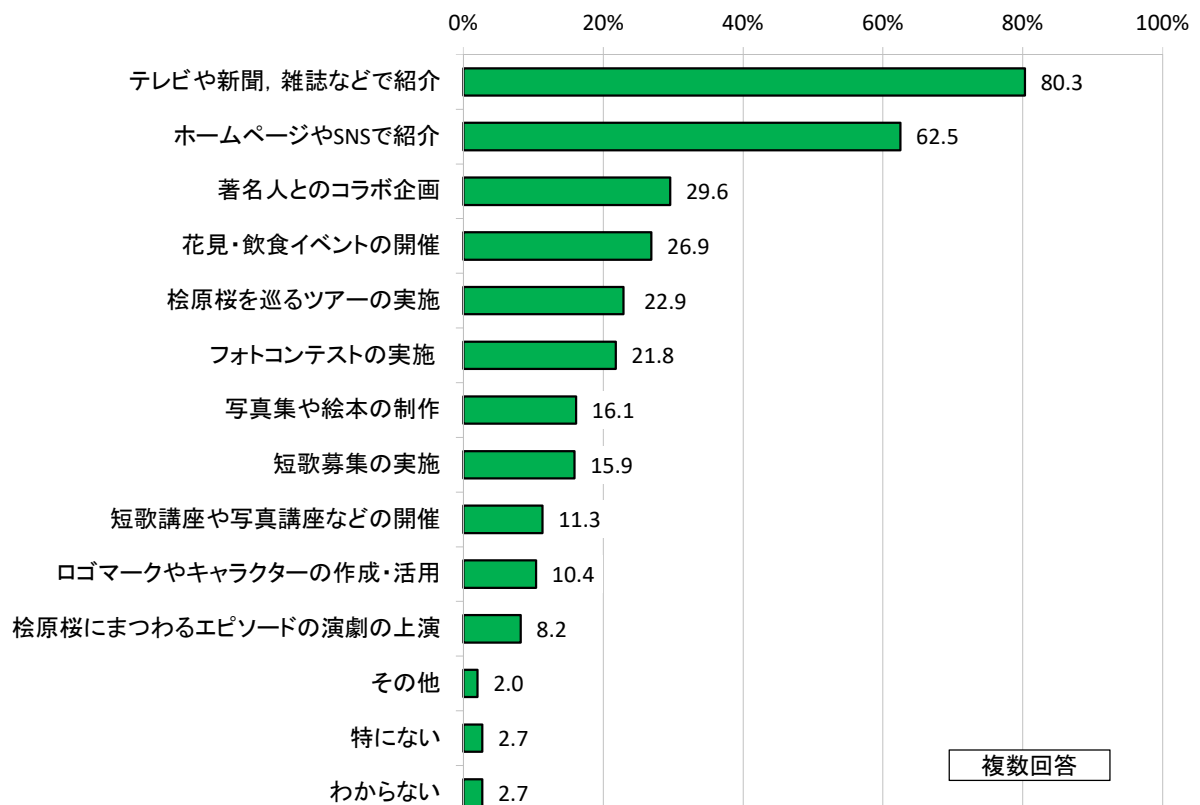
「家庭における消費者教育の充実」「学校における消費者教育の充実」と回答した方が61.8%と最も多く、次いで「若年者が被害に遭わないための具体的な情報提供や注意喚起」が49.9%となりました。

## ⑤「南区の桜原」について(N=547)

### 「桜原」と「桜原にまつわるエピソード」を知っていたか



### 「桜原にまつわるエピソード」を全国に広く知っていただくために効果的だと思う取り組み



「テレビや新聞、雑誌などで紹介」と回答した方が80.3%と最も多く、次いで「ホームページやSNSで紹介」が62.5%となりました。